

農業水利施設の保全活動で育む 地域とのつながり

—水質浄化機能—

糸満市地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会



土地改良区や地域住民
による共同清掃活動

糸満市は、沖縄本島の最南端に位置する地域であり、地下ダムや水路、排水路等のかんがい排水施設を造った結果、農業用水を活用した営農が進み、サトウキビをはじめ、ニンジンやレタス等の野菜や花きの生産が盛んな地域となっている。

「糸満市地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会」は、糸満市内の21の土地改良区から構成される広域活動組織であり、改良区毎の活動の調整とともに、地元小学生への農業体験学習の実施など地域振興にも取り組んでいる。



沖縄県糸満市

〔土壌浸食防止、水質浄化〕



沈砂池の泥上げ

沈砂池は、農地や斜面から流れてくる濁水を一時的に貯め、土砂等を沈殿させた後、海へ放水することで、過剰な土壌浸食や海域の水質汚染を防ぐはたらきがある。本地域は、ゆるやかな起伏をもった台地からなっており、過去に湛水被害を受けていたことから、湛水や土壌浸食を防ぐための沈砂池が設置されている。同委員会は、市内の業者への委託により活動区域内118箇所の沈砂池の泥上げを行うことで、施設の適正な管理や海域の環境保全に取り組んでいる。

〔景観の保全〕



排水路法面の清掃活動

同委員会では、土地改良区ごとに活動計画を立てており、年に2回程度、地域住民と協力して農道周辺や水路法面の草刈り・清掃作業を行うことで、施設の機能の維持や農村景観の維持に努めている。

〔体験学習と教育〕

毎年夏と冬に、琉球大学農学部と連携して、地元小学校の4・5年生を対象に座学と現地学習を併せた出前講座を行っている。夏は地下ダムや沈砂池、ファームポンドなどのかんがい施設の見学や水質調査を行い、冬は農家の協力を得て黒糖づくりの体験や野菜の収穫体験を実施するなど、地元の農業や水環境への理解を広めている。



ミニトマトの収穫体験



黒糖を作るためのさとうきび
しばりの体験学習



パックテストによる湧水や
地下ダムの水質調査